



## 恐るべし肌老化の

### 四大原因②皮膚の乾燥1

皮膚が力サ力サに乾燥する、すなわち『乾燥肌』とは、肌に含まれる水分や皮脂が不足して潤いがなくなつている状態のこと。ドライスキンとも呼びます。皮膚の水分は、発汗、発汗以外の皮膚および呼気からの水分の喪失(これを不感蒸泄といいます)、湿度などによつて調節されています。

単純に水分があれば保湿されるとお考えかもしませんがそうではなく、皮脂、角質細胞幹物質(セラミドといいます)、天然保湿因子(NMF)などによって保湿されています。私たちの肌は表皮で覆われていますが、乾燥と密接な関係にあるのが、表皮の一一番外側にある角質層です。角質層には「バリア機能」という役目があり、バリア機能が正常に働いていると、肌の水分を保ち蒸散を防ぐとともに、アレルゲンなどの侵入や外部の刺激から肌を守ります。

この機能を構成しているものの多くは水に溶けにくい成分からなっています。一般的に、水より軽い油分などが表面を被っている状態を思い浮かべるとその下の水分は蒸発しにくいと考えられます。また、乾燥肌の原因は

はなぜこのような調節を受けているのか考えてみまじょう。元々人間は大量の水分で構成されています。皮膚を作つている細胞もその中に存在しています。人間が全部水に溶ける物質から成つていて、お風呂に入ったときに水に溶けてしまいますね。身体が水に溶け込まないように、皮膚の細胞が下から表面に向かつて分化していく途中に、水に溶けない脂溶性のものを作り出して皮膚の表面を被つていています。その意味でも皮膚の存在は重要です。また、乾燥肌の原因は

前述の原因だけでなく、その方の置かれている環境やライフスタイルによっても大きく影響されます。次回は、乾燥肌の対処法について記載します。

前岩手医科大学皮膚科 森志朋